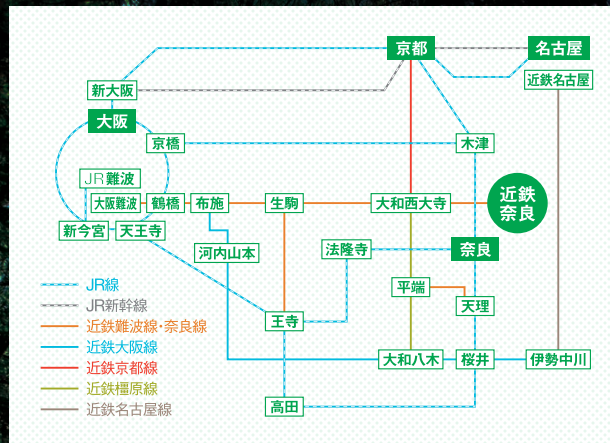


柳生街道

散策ガイドブック

ACCESS MAP



ACCESS 各方面～近鉄奈良駅まで

■ 電車でのアクセス

- ・大阪難波駅から近鉄奈良駅まで 約35分
- ・京都駅から近鉄奈良駅まで 約40分
- ・JR線の京都駅から奈良駅まで 約60分
- ・近鉄名古屋駅から近鉄奈良駅まで特急で 約2時間30分 (大和西大寺駅のりかえ)

■ 車でのアクセス

- 大阪方面から** 阪神高速1号環状線・13号東大阪線及び第二阪奈有料道路経由 約50分
- 京都方面から** 阪神高速8号京都線、京奈和自動車道路経由 約60分
- 和歌山方面から** 和歌山バイパス国道24号線、阪和自動車道及び西名阪自動車道経由 約1時間30分

発行

奈良市奈良ブランド推進課

city.nara.lg.jp

〒630-8580 奈良市二条大路南1-1-1 TEL 0742-34-5172

静寂
古道
体感

体感
古道
静寂

平城京から直線距離で東に約16キロ離れた場所に、柳生新陰流を生んだ剣聖の里「柳生」があります。柳生新陰流は、他者を斬り殺すことのみを主眼としていた戦国の世にあって、人を生かす平和の剣として柳生宗厳が生み出した流派であり、自分に打ち勝つ心の修養の大切さを説いています。柳生には今でも柳生家ゆかりの芳徳禅寺や正木坂剣禅道場などの歴史遺産が数多くあり、白壁と石垣のある民家から、静かな山里に息づく柳生家の精神を感じることができます。

柳生街道は春日山と高円山の谷あいの道を通り、奈良市市街地から柳生まで通じる古道です。沿道に誓多林、忍辱山など、インドの聖地に見立てた仏教由来の地名が今でも残っていることから、奈良・平安時代にはすでに山岳仏教の道場となっていたと考えられています。そして今から約300年前、柳生新陰流が興されて以来、柳生の里には柳生街道を通り、「柳生の剣」を求める武士が行き交ったと言われています。コースや場所によって様々な時代・風景・自然の表情を感じることができる柳生街道へ、ぜひ出かけてみましょう。

柳生街道

柳生の歴史を辿る、3つのコース。

COURSE - 01

滝坂の道

Takisaka-no-michi Path

コース難易度



移動距離 約12km

奈良市市街地からスタートした場合に、柳生街道の前半にあたるのが滝坂の道。不ぞろいの石を敷き詰めた石畳が続いていますが、これは柳生家が将軍家の剣道師範となり大名となった頃に街道の行き来を良くしようと改修工事が行われた名残だと考えられています。滝坂の道には山岳仏教の信仰の対象となっていた石仏がたくさん残されており、今も昔も柳生街道を行き交う人々を静かに見守っています。凜と澄んだ空気を感じ、川のせせらぎや木々のざわめきを聞きながら歩むことができるこの道は、いつ訪れても気持ち清めてくれる場所でもあります。石畳の道を抜けると、江戸時代から続く茶店「峠の茶屋」で一休みすることもでき、さらに進むと平安時代に造られた円成寺の美しい浄土庭園へと続きます。

COURSE - 02

剣豪の道

Kengo-no-michi Path

コース難易度



移動距離 約9km

円成寺から剣聖の里柳生へ続くコースです。神秘的な雰囲気を感じる柳生の滝坂の道とは違ってかわり、なつかしい雰囲気を感じる里の中を通り、急坂「かえりばさ峠」へと続きます。眼下一面に広がる田園風景が特におすすめのポイントです。また、柳生の城主但馬守宗矩とその妻おふじの出会いにまつわる逸話が残る「おふじの井戸」など柳生家に関する旧跡もコースの中に登場します。南明寺、山口神社など歴史や人々の信仰と感謝の念を感じることができるスポットも多数あります。春には田植えが終わった田んぼがまるで草原のように広がり、春の空気を存分に感じることができます。秋は、稲穂が金色に輝き円成寺周辺の紅葉も美しく、様々な景色を見ることができる剣豪の道は、四季を通して楽しめるコースです。

COURSE - 03

柳生・笠置の道

Yagyu-Kasagi-no-michi Path

コース難易度



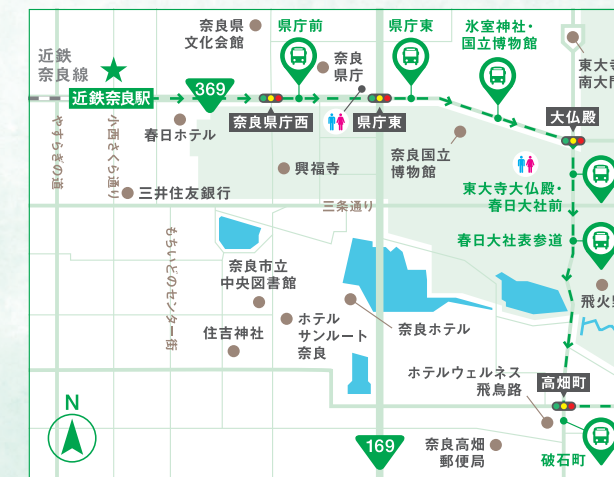
移動距離 約11km

伝説の多く残る「十兵衛杉」や「阿対の石仏」を見学できる柳生のバス停から、笠置の歴史を感じることができるJR笠置駅へ向かうコースです。柳生のバス停から進むと、辺り一面のどかな田園風景。そびえ立つ十兵衛杉を越え、鹿鷲橋を渡って阿対の石仏を拝めば、緩やかな登りが続きます。国の史跡・名勝に指定されているこの地区の笠置山の山頂には笠置寺があり、山門をくぐれば本尊弥勒磨崖仏(みろくまがいぶつ)に代表される名所があなたを出迎えます。じっくりと笠置寺を満喫した後は、緑の中を下り「笠置山登山口」のアーチまで歩を進めると出口です。花崗岩で造られた巨岩・奇石の数々が今なお特異な景観を残すこのコースは、滝坂・剣豪の道より、川沿いを歩きながらのどかな風景を楽しむことができます。自分のペースでじっくり楽しみたい方におすすめです。

Access

交通アクセス

柳生街道最初のコース「滝坂の道」までは、近鉄奈良駅から徒歩またはバスでお越しください。



ACCESS 近鉄奈良駅 ~ 各コースまで

■ 徒歩でのアクセス

滝坂の道 近鉄奈良駅から「破石町」バス停まで 約21分

■ バスでのアクセス

滝坂の道 近鉄奈良駅前から「破石町」バス停まで 約7分

剣豪の道 近鉄奈良駅前から「柳生・邑地中村・石打方面行バス」にて「忍辱山(円成寺)」バス停まで 約28分

柳生・笠置の道 近鉄奈良駅前から「柳生・邑地中村・石打方面行バス」にて「柳生」バス停まで 約43分/約48分*

バスの便数が少ないため、事前に停車時刻をご確認の上お越しください。
※ 周遊コースのため、JR笠置駅をスタートとすることも可能です。

バス時刻 電話お問い合わせ先

奈良交通 お客様サービスセンター
受付時間 8:00~19:30(年中無休)
(0742)20-3100

バス停時刻表のご案内

奈良交通ホームページ
バス停時刻表
jikoku.narakotsu.co.jp



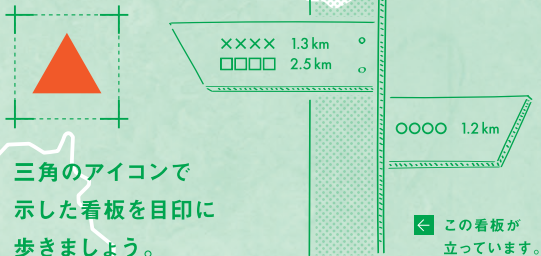
滝坂の道

Takisaka-no-michi Path

Start!
近鉄
奈良駅

Goal!
円成寺

落ち着いた雰囲気のある石畳と、
木々の緑やもみじの赤や黄色に
魅せられて。



徒歩約10分 / 約800m

アイコン解説	
	コースルート
	名所見学ルート
	階段
	登り
	下り
	スポット
	施設や目印など
	案内看板
	雑木林
	トイレ

- 01 寝仏**
街道の「寝仏」の案内表示のそばの石の裏側に、大日如来が刻まれています。いつ、どこで、誰が造ったのかが分からず、その神妙さが見た人の心を惹き付ける力を持っています。
- 02 夕日観音**
弥勒窟石仏で「夕日観音」と呼ばれています。弥勒信仰が盛んだった鎌倉時代に彫られたと言われ、頭の右上の石が少し前に出ていることが特徴です。その名の通り、夕日に映し出された幻想的なお姿は、見た人の心を癒します。

- 03 朝日観音**
1265年の銘が刻まれている三尊磨崖仏は、中央が弥勒菩薩、左右が地藏菩薩です。東を向き朝日に照らされている神々しいお姿から、朝日観音と呼ばれるようになりました。
- 04 峠の茶屋**
江戸時代から続いている石切峠近くの茶屋。店内には昔、武士が酒代の代わりに置いて行ったとされる古い鉄砲や槍が飾られていました。茶屋のたたずまいからは、かつての武士の息吹を感じることができます。

剣豪の道

Kengo-no-michi Path

KENGO-NO-MICHI PATH

Goal!
柳生
バス停

のどかな田園が広がる剣豪の道。

稲穂や草木が奏でる風の音にそっと耳をかたむけて。

Start!
円成寺

PICK UP!

忍辱山
忍辱山町集荷場
奈良市消防団ポンプ格納庫
忍辱山町集会所

鉄塔を右手に見ながら左の道に進む

看板を目印に脇の小道に入る

バスを降りて左に進む (バスの場合)

下りの道へ道なりに進む

PICK UP!

興東公民館
大柳生口
大柳生公民館
JAならけん ふじい 大柳生支店 ばし

ゲートボール場が左手に見える

PICK UP!

左の下りではなく右の平坦な道を進む

小屋
小屋の右手に入る

PICK UP!

摩利支天山
柳生八坂神社

角を曲がると鳥居がある

PICK UP!

百陽荘
南明寺
おふじの井戸

右の小道に進む

ここから山道に入ります (かえりばさ時)

急な登り

貯水施設

下りが続く

分かれ道

PICK UP!

夜支布山口神社
水木古墳
多間神社

道の細い足元注意

大柳生の里を見渡せるポイント

右の道へ進む

PICK UP!

夜支布山口神社
階段
横断注意
あぜ道に入る

田んぼが広がる

わきの小道を進む

見落とし注意

水木古墳

泉垣内集会所

02 おふじの井戸
柳生の城主但馬守宗矩とその妻おふじが出会ったという伝説はロマンそのもの。但馬守宗矩がこの井戸の付近を通り掛かった際、洗濯をしていたおふじという娘と出会い、但馬守はそのおふじの器量と才気を見初め、のちに妻に迎えたと言われています。

03 天之石立神社
柳生一族の修練の場と言われているこの神社は、自然信仰の貴重な神社です。ご神体は寄り添うように立った2つの立石、丸く大きな岩、三角錐を覆かせた岩です。また、鳥居をくぐると周囲には大きな石も転がっています。これらの岩から、当時の修練の様子を思い巡らせてみてください。

徒歩約10分 / 約800m

アイコン解説

— コースルート	● スポット
— 名所見学ルート	▲ 施設や目印など
— 階段	▲ 案内看板
↑ 登り	▲ 雑木林
↓ 下り	♂ ♀ トイレ

01 南明寺
現在の本堂は、鎌倉時代に建てられた寄棟造りです。本堂には平安時代に造られたと言われる木造の釈迦如来、薬師如来、阿弥陀如来の三体の坐像が安置されています。

YAGYU-KASAGI-NO-MICHI PATH

柳生・笠置の道

Yagyu-Kasagi-no-michi Path

約400年の歴史を物語る

石仏や十兵衛杉。

神聖な山の空気を味わって。

01 十兵衛杉

宗矩の長男として生まれた柳生十兵衛が、三代将軍家光の命令によって四国・九州行脚の旅に出る時、記念のために植えたと言われている杉。現在は枯れていますが、その荘厳な様子は人々を圧倒します。

02 阿対の石仏

高さ5メートル幅3メートルの自然石に長方形の枠を彫り、その中に高さ1.5メートルの阿弥陀如来立像、左脇に0.7メートルの地藏菩薩が刻まれています。室町時代の優美な石仏と呼ばれ、その昔、この付近には阿対寺があったと言われています。

徒歩約10分 / 約800m

アイコン解説

- | | | | |
|--|--------|--|---------|
| | コースルート | | スポット |
| | 周遊ルート | | 施設や目印など |
| | 階段 | | 案内看板 |
| | 登り | | 雑木林 |
| | 下り | | トイレ |

Goal!
JR笠置駅

Start!
柳生バス停



実際には北向きで立っています

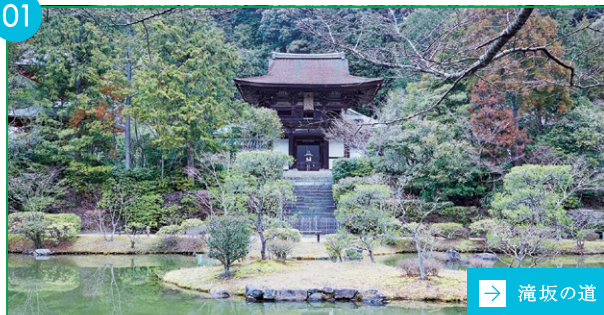


Highlights of Yagyu Kaido

柳生街道 みどころSPQT



01

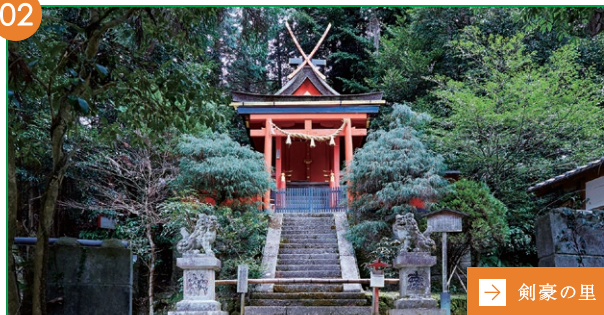


滝坂の道

円成寺

平安時代中頃が始まりだと言われている本寺。15世紀の戦火で焼失しましたが、その後再建され本堂、楼門などが残っています。見所は回遊式名勝、仏師運慶が1176年に造った大日如来坐像他、13世紀に春日大社社殿を移築したと伝わる春日堂・白山堂。四季折々で違う景色が楽しめる境内が有名で、なかでも秋の紅葉には格別な風情を感じることができます。

02



剣豪の里

夜支布山口神社

平安時代の中頃に編み込まれた延喜式(古代日本の法令集)に載っている歴史ある神社で、大柳生町の氏神として今もお信仰されています。現在の境内にある摂社立磐神社本殿は18世紀の春日大社第四殿を移築したもの。この神社には、1年交代でトウヤと呼ばれる集落の各家に神様の分霊をお迎える「廻り明神」という古い伝統や、「雨乞いの踊り」と言われている有名な大柳生太鼓踊りが継承されています。

03



滝坂の道

首切り地蔵

首の部分がまるで刀で切られたようになっているお地藏様。剣豪荒木又右衛門が試し切りをしたと言われ、静かにたたずむ様子はとても神秘的です。人々を救う役割として多くの人に親しまれていたことから、かつてこの道を行き交う人々にとっては、お守りのような道しるべになったことが伺えます。

04



剣豪の里

芳徳禅寺

柳生家の菩提寺。本堂には柳生一族が祭られ、柳生の里を一望できる境内からの景色はまさに絶景です。向かって右隣の史料室では柳生藩の資料が閲覧でき、また敷地内には柳生正木坂剣道場が建てられており、柳生新陰流の精神を体感することができる貴重な場所だと言えるでしょう。寺の裏にある柳生一族の墓地は、紅葉の名所としても名を馳せています。

05



剣豪の里

一刀石

天之石立神社境内にある2つに割れた巨石は思わず目を疑うほどの存在感。この石はとても固い花崗岩ですが、「3年間剣術の修行をしていた柳生新陰流の始祖である柳生宗厳が、天狗を相手に戦っていたが、天狗を切ったとたんに天狗が消えてこの石が2つに割れた」という伝説が言い伝えられています。それほど柳生新陰流の始祖が優れていたという証と言えます。

06



柳生・笠置の道

笠置寺

東大寺二月堂修二会の起源だと言われている歴史深い寺。奈良との縁も深く、高さ15mの巨岩に刻まれた弥勒菩薩像が本尊です。また、本尊より一回り小さい虚空蔵菩薩像も美しく、訪れた際には手で触れることができます。境内は笠置山のほぼ山頂に在るにもかかわらず、遠方から参拝に訪れる人が後を絶ちません。

Stay safe and have fun

安全に楽しむために...



STEP-01 出発前に確認すること

あらかじめ行き先、コース、同行者の名前や連絡先、スケジュールなどを家族や関係者に知らせておきましょう。悪天候、ルート変更などのため予定が遅れることがあるので、余裕を持ったスケジュールを組みましょう。また、コースの内容、距離、季節などを十分に調べ、自分の体力に合ったコースを選択し、行き帰りの乗り物の時間・場所は事前に調べておきましょう。

- 天候に気配りを
 - ・ 天気予報を確認し、天候が悪い日は無理をせず、天気の良い日に歩きましょう。
 - ・ 雨が降った後の地面はぬかるみやすく危険なため、注意して歩いてください。

- 体調管理
 - ・ 歩く前には準備体操をし、怪我の予防に努めましょう。体調不良の場合は控えましょう。
 - ・ 万が一に備え、非常用の食糧を持参しましょう。
 - ・ 骨折・捻挫・打撲・虫刺され、熱中症など、急な体調不良になった時は、焦らず適切な処置を行いましょう。

- 注意すべき生物
 - ・ ヒル、ハチ、イノシシ



STEP-02 持ち物リスト

不測の事態に備えて、しっかり持ち物を確認しましょう。

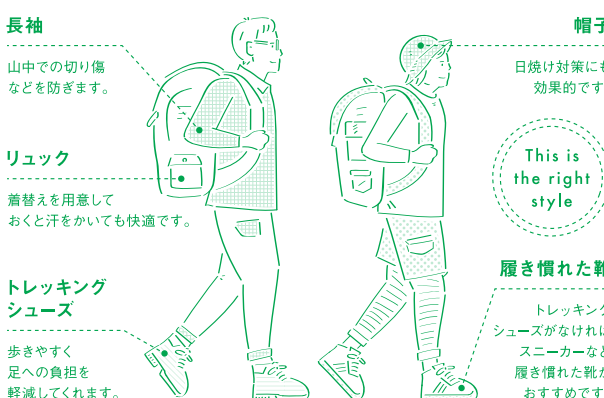


- 持ち物(チェックリスト)

<input type="checkbox"/> 弁当	<input type="checkbox"/> 水筒	<input type="checkbox"/> 雨具	<input type="checkbox"/> タオル
<input type="checkbox"/> 薬類	<input type="checkbox"/> ビニール袋	<input type="checkbox"/> 着替え	<input type="checkbox"/> 防寒具
<input type="checkbox"/> 地図	<input type="checkbox"/> コンパス	<input type="checkbox"/> 腕時計	<input type="checkbox"/> 携帯電話
<input type="checkbox"/> 日焼け止め	<input type="checkbox"/> 携帯充電器	<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー	
<input type="checkbox"/> 甘いもの(あめやチョコなど)			

STEP-03 服装について

歩きやすい衣服を着用し、安全に楽しみましょう。



長袖
山中での切り傷などを防ぎます。

帽子
日焼け対策にも効果的です。

リュック
着替えを用意しておくとお汗をかいても快適です。

This is the right style

トレッキングシューズ
歩きやすく足への負担を軽減してくれます。

履き慣れた靴
トレッキングシューズがなければスニーカーなど履き慣れた靴がおすすめです。

STEP-04 その他 山歩きでの注意点

怪我や転倒などに注意して、安全に山歩きを楽しみましょう。不測の事態が起きた際は、焦らず対処しましょう。

- 行動は慎重に
 - ・ 迷ったと思ったら目印の地点まで戻りましょう。
 - ・ 天候や視界の悪い時に歩く場合は、コースを見失わないように踏み跡を慎重にたどってください。
 - ・ 足下ばかりでなく、頭上にも気を配りましょう。

- 心得
 - ・ 歩く時は、少なくとも2人以上のグループで行動し、1人にならないようにしましょう。
 - ・ 携帯電話が繋がらな場所があります。事前にきちんと計画を立て、コースを回る同行者と共有しておきましょう。

- マナーを守り、柳生街道を楽しみましょう
 - ・ 火気厳禁です。
 - ・ ゴミ(弁当箱、空き缶、ペットボトルなど)は必ず持ち帰りましょう。

H29.3月 現在